

# トリック・アー트의世界展

## 視覚の迷宮へようこそ!



ワガハイはゴッホである!?

森村憲昌(肖像「ヴァン・ゴッホ」)1985年 高松市美術館蔵  
\*実際の作品に顔線はありません。

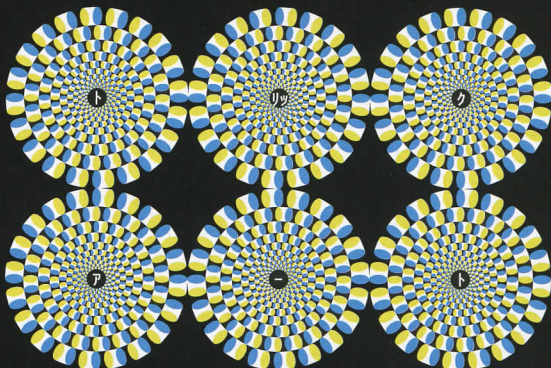
2011年4月15日(金)～5月29日(日) 月曜日休館 (5月2日は開館)

- 開館時間＝火～土曜日・祝日(9:30～19:00)／日曜日(9:30～17:00)  
入室はいつでも閉館30分前まで
- 入場料：一般 1000円(800円) 大学生 500円(400円) 高校生以下 無料  
※( )内は前売りおよび団体20名様以上の料金  
※身体障害者手帳・療育手帳または精神障害者保健福祉手帳所持者は入場無料
- 前売券：美術館1階受付、ゆめタウン高松サービスカウンター  
宮脇書店本店および南本店にて前日まで販売

- 主催：高松市美術館・読売新聞社・美術館連絡協議会・RNC西日本放送
- 協賛：ライオン・清水建設・大日本印刷・損保ジャパン

Takamatsu City Museum of Art  
**高松市美術館**  
〒760-0027 香川県高松市紺屋町10-4  
TEL:087-823-1711 FAX:087-851-7250

絵が動きます!?



北岡明佳(錯視デザイン・蛇の回転)2003年

# トリック・アートの世界展

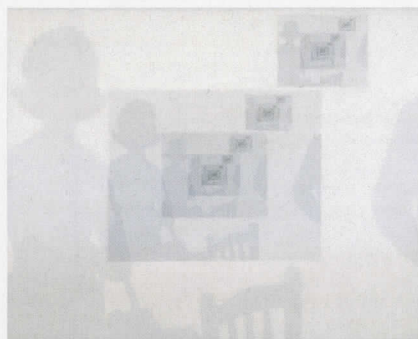
## 視覚の迷宮へようこそ!

人は、五感の中でもとくに視覚に頼りがちですが、見誤り、思い込みなど、視覚は実にだまされやすく、あてになりません。そこに目をつけた画家たちは古今東西、さまざまな「だまし絵」を手がけ、見る者をあざむき、楽しませてきました。そうした視覚へのあくなき挑戦は、現代にも引き継がれ、現代アートならではの多彩なトリック・アート作品が生み出されています。

本展覧会は、全国11会場を巡回し、各地で多くの入場者数を記録し人気を博した話題の展覧会「トリック・アートの世界展」を高松スペシャル・バージョンとして、ボリューム・アップして開催するもので、高松市美術館と他館のコレクションから選りすぐったトリック的な要素のある現代アート約70点が紹介されます。作品が追加出品されるほか、絵が動いているように見える、線がゆがんで見えるといった、驚異的な錯視(目の錯覚)図形も登場します。現代アートに仕組まれたトリックの数々をお楽しみください。



堀内正和《人差指》1966年



高松次郎《影の圧搾》1965年

作品図版は、北岡明佳《錯視デザイン・オニヒトデ》をのぞき、いずれも高松市美術館蔵



伊藤隆康《負の楕円》1967年

あなたもきつと、  
だまされる。

## 関連イベント

### 記念講演会1「錯視の楽しみ」

1

4月24日(日) 14:00~15:30

講師:北岡明佳氏(立命館大学教授)

1階講堂にて/無料/先着150名様

内容:絵が動いて見える、線がゆがんで見える…錯視(目の錯覚)デザイン研究の第一人者・北岡先生による楽しい「錯視」の話。

### 記念講演会2「おかけんたの“え〜声”アート・トーク」

5月1日(日) 13:30~15:00

講師:おかけんた氏(お笑いタレント/アート愛好家)

1階講堂(講演会)および2階展示室(ギャラリートーク)にて/講演会聴講は無料。ギャラリートーク聴講は観覧券が必要/講演会先着150人

内容:アートを愛するお笑いタレント・おかけんた氏が、現代アートに関する話題と「トリック・アートの世界展」出品作品について、独自の視点で楽しいトークを繰り広げます。ご自慢の“え〜声”もお楽しみに!



2

### ワークショップ 「ボデゴン(鼻つき)つくろう!」

5月15日(日) 13:30~16:30

3階講座室にて/受講料500円

小学生~大人先着15名/市美術館 087-823-1711

### 子どものアトリエ 「アナモルフォーシをつくらう!」

5月22日(日) 13:30~16:00

3階講座室にて/受講料500円

小学生~大人先着15名/市美術館 087-823-1711

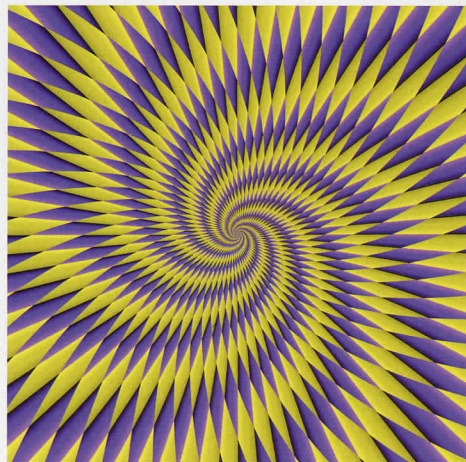
特別企画

「錯視ワンダーランド」

絵が動いているように見えたり、線がゆがんで見えたりなど、錯視(目の錯覚)を引き起こす驚異的な図形の数々をご紹介します。

協力:北岡明佳氏(立命館大学文学部教授・心理学専攻)

※講演会あり(関連イベント欄参照)



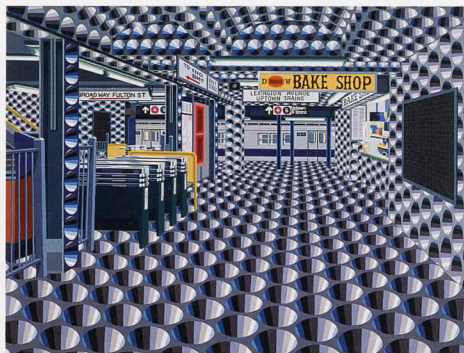
北岡明佳《錯視デザイン・オニヒトデ》2009年



《なま玉子J》1978年



《キリストから見た聖アンナと聖母》



佐藤正明《Subway No.23》1977年



森村泰昌《ボデゴン(鼻つき洋梨)》1992年

常設展のお知らせ

第1期常設展 4月3日(日)~6月12日(日)  
現代美術と讃岐漆芸の展示

交通のご案内

JR 四国 - JR高松駅から南へ徒歩15分  
ことでん - 瓦町駅または片原町駅から徒歩10分  
バス路線 - (レインボー循環バスほか) 紺屋町バス停から徒歩3分  
(まちバス) 丸亀町バス停から徒歩2分  
美術館地下に公営駐車場  
駐車場 - (有料、乗用車144台収容)



3

子ども鑑賞プログラム  
「アートで遊ぼう!」

5月28日(土) [トリック・アートの世界展]  
6月25日(土) [三代徳田八十吉展]  
7月30日(土) [小谷元彦展] / 各9:30~11:00 /  
なるべく3回連続で受講してください。  
講師:当館学芸員 / 3階講座室にて / 4月1日  
8:30より電話(高松市美術館 087-823-1711)で  
お申込みください。

4

学芸員によるギャラリートーク

4月23日(土)・5月21日(土) 14:00~  
2階展示室 / 観覧券が必要

5

美術館ボランティアcivi(シヴィ)  
によるギャラリートーク

会期中の毎日曜・祝日(4月24日・5月1日を除く)  
11:00~14:00~/2階展示室  
観覧券が必要

6

エントランス・ミニコンサート

5月14日(土) 13:30~14:00  
エントランスホールにて  
無料 / 出演者・曲目などは決まりしだいホーム  
ページなどでお知らせします。

7

8

梨)を

講師:南正邦氏(彫刻家)  
円(材料費別途200円)  
月1日8:30より電話(高松  
お申込みください。

く(ゆがみ絵)

講師:南正邦氏(彫刻家)  
円  
月1日8:30より電話(高松  
お申込みください。

# 小宮・大宮・東武東上線 東武東上線 小宮・大宮

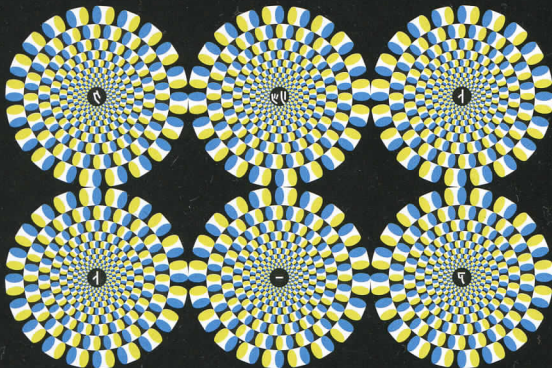
「おはようございます」



TRAFIC

\*上記画像は、森村泰昌《肖像(ヴァン・ゴッホ)》の画像を、作者の承諾のもと、加工しています。

東武東上線 小宮・大宮 2025年2月5日(金)～2月28日(日) (2月9日(日)休止)



「おはようございます」

- 開館時間：11:00～19:00(日曜日・祭日) 10:00～19:00(2月28日)
- 入場料：大人1,000円(小学生500円) ※小学生以下は無料
- 観覧料：大人1,000円(小学生500円) ※小学生以下は無料
- 観覧料：大人1,000円(小学生500円) ※小学生以下は無料
- 観覧料：大人1,000円(小学生500円) ※小学生以下は無料

Takamatsu City Museum of Art  
高松市美術館  
〒760-0027 高松市高松10-4  
TEL:087-823-1211 FAX:087-821-2520

©2025 高松市美術館